

平成25年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)
(特定共同研究(C))

1. 課題番号 20 13 - C - 01 (※)

※特定共同研究 A01 の場合、予知研究課題番号を記入

2. 研究課題名 (データベース化のため英訳を加えてください。)

和文: 防災研究フォーラム

英文: Disaster Prevention Research Forum

3. 研究代表者所属・氏名 地震研究所・吉田真吾

(地震研究所担当教員名) 同上

4. 参加者の詳細と旅費使用概要 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	出張先	出張期間	旅費支給の有無 ※特定(A)のみ
小屋口剛博	東大地震研・所長			
中川 一	京大防災研・教授	東大	2014.2.2	
丸山 敬	京大防災研・教授	東大	2014.2.2	
岡田義光	防災科研・理事長	東大	2014.2.2	

5. 参加者が分担した役割 (200-400 字程度で記入してください)

この共同研究は、東大地震研究所・京大防災研究所・防災科学技術研究所の3者の合意の下に設立した防災研究フォーラムにおいて、以下の事業を、全国共同利用の枠組みで実施するものである。

(1) 国内外の地震・火山・津波等の災害が発生した場合、現地へ専門家を先遣隊として派遣し、現地との折衝を迅速におこない、後続の防災研究チーム本隊に必要な情報提供・環境整備にあたる。

(2) 専門家のみならず、自治体等防災担当者を交えた防災研究についてのシンポジウムを開催する。シンポジウムの開催は、東大地震研究所・京大防災研究所・防災科学技術研究所の輪番で行う。

今年度は東大地震研が事務を担当し、2014年2月2日にシンポジウム「都市に迫る自然災害を考える」を東京大学弥生講堂一条ホールにて開催した。4に記載した参加者は、そこでの講演者である。

6. 研究実績 (論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無)